

授業科目 医療福祉連携論

【担当教員名】 永井 洋一, 牧田 光代	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・養護・栄養・スポーツ・看護・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】
 私達の身近な生活周辺から相互に助け合う連携やその枠組みについて理解するとともに、保健・医療・福祉の専門職として連携に関わる基礎的知識・技術・態度を身につける

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 教材のビデオを鑑賞し、対象者に必要な支援(物的・人的・社会的)を列挙できる
2. ビデオに描かれた対象者の心理的・社会的問題についてグループのメンバーと討議してまとめられる
3. グループの意見をまとめて発表できる
4. 他のグループの発表を聞き、意見の修正と交換ができる
5. 保健・医療・福祉における専門職の必要性和役割に気づく
6. 保健・医療・福祉における専門職の協業・連携の必要性について述べる事ができる。

【注：視聴するビデオは疾病・障害・社会的不利とともに生きる個人の生活を扱う内容のものをメインと考える】

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション(授業内容説明, 課題説明), 教材ビデオ鑑賞	1	全体, ビデオ鑑賞, まとめ用紙
2	ビデオの感想発表, グループ別KJ法	1,2	発表, 討議, グループ活動
3	KJ法続行	1,2	グループ活動, 討議
4	KJ法:まとめ	1,2	"
5	討議結果の発表	3,4	発表, 討議
6	保健・医療・福祉の専門職に要求する事柄の列挙と整理	5,6	グループ活動, 討議
7	専門職間の連携・協業の必要性和重要性について	5,6	全体討議, 自己評価
			自己評価用紙, メンバー評価用紙

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	特に指定しない			
参考書	必要に応じて紹介する			
その他の資料	必要に応じて配布する			

【評価方法】
 出席：10%, グループ活動への参加：30%
 レポート：30%, 発表への貢献：30%
 自己評価チェック, 相互評価を参考にする

【履修上の留意点】
 集中講義形式で開講するので、原則として欠席は認められない。開講日程は後期登録期間内に示される予定。